



第56回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会

2017年6月3日(土) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側
 主催: 日本学生自転車競技連盟 共催: (公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟
 協賛: (公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会
 株式会社パールイズミ セイコータイムシステム株式会社
 後援: 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会



Communiqué.02-1

2017年5月30日

チーフコミッサー 荒井 純一

1. オートバイからの機材補給について

- 前年の**上位8チーム**は随行審判オートバイにスペア前後輪1ペアを積むことができる。
- 搭載を希望する該当チームは**11時まで**にスタート地点に持参のこと。
- レース中に車輪交換を希望する場合、選手は手を上げて随行審判オートバイに知らせた上で道路左路肩に完全に停止し、ホイールキャリアからの車輪の取り出し、交換等を自らの責任において行うこと。

2. レース中の車両走行について

- 道路幅員が狭い為、四輪車は原則走行出来ない。(救護車等が走る場合があります)
- チームカーの伴走は出来ない。
- 違反行為の観察はモータバイク審判員が適宜走行して行なう。

3. チームピット(飲食料・器材サポートエリア)ならびに補給

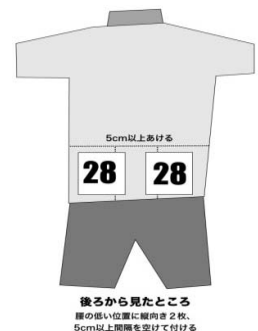
- 下流側折返し地点近傍コース南側、下流側より**スタート順に従い**各チームのテント設置を認める。
- チームピットエリアの幅は1チームあたり4m以内とする。
- 荷物の積み下ろし時には、車両をチームピットに乗り入れて行うこと。コース上に駐停車することは厳に禁ずる。
- 荷物の積み下ろしが終わったら、速やかに車両を指定の駐車場に移動すること。
- レース中にピットエリアに駐車することは認められない。
- **閉会式・表彰式開催中のピット撤収のための車の移動は認めない。**
- チームピットエリアにテントを設営する場合、地面を痛めるペグ等の使用は認められない。
- このチームピットエリアと下記の共用補給エリアにおいてのみ、毎週回飲食料の補給を認める。
- 最も下流側・折返地点直近は共用補給エリアとし、折返しで通過中の**チームの ID カード所持者(各チーム4枚迄)**のみ立入可とする。
- 競技中の選手は、共用補給エリアおよびチームに指定された飲食料・器材サポートエリア内においてチームメイトに拾われることを前提とする場合のみ、ボトル、食料、包装紙等を道路上に静かに落とすことができる。それ以外でのポイ捨ては厳禁とする。
- 地上に落とされたものは他校選手分も回収に協力されたい。
- 上記事項に違反するボトル、食料、包装紙などの廃棄には、3000円/件のペナルティーを科すものとする。

4. 無線通信装置の使用

- チームロードタイムトライアルは、競技者間・競技者と監督間の無線通信を、**アマチュア無線機を除く日本国内で適法な無線機に限り**、競技運営および安全性を損なわない範囲で認める。

5. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- 本大会では、ゼッケン2枚+フレームプレートの着用を義務づける。ゼッケンの付け方は右図のようにつけること。なお、**ゼッケンの間隔は5cm以上空けること。**
- ゼッケン及びフレームプレートは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。大会終了時に返却しなかった者および紛失の場合は、1枚につき1000円のペナルティーを科すものとする。
- フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側につけること。フレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>

日本が生んだ世界のスポーツ